

CNIC × WOC – 感染管理認定看護師と皮膚・排泄ケア認定看護師の協働事例 –

○北林 礼士¹⁾、石塚 操樹²⁾

1) 加納総合病院 感染防止対策室、2) 前 加納総合病院

【はじめに】認定看護師とは、特定の分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者がいい、水準の高い看護実践を通して指導・相談活動を行う者である。臨床現場では複数の疾患を有する患者が多く、単独の領域からでは介入できない症例も多々ある。

今回、感染管理認定看護師（以下：CNIC）と皮膚・排泄ケア認定看護師（以下：WOC）が介入し、一定の効果が見られた事例をここに報告する。

【1. 角化型疥癬の事例】施設入所中に角化型疥癬と診断されたが、早急にペースメーカー埋め込みが必要となり、疥癬治療継続での入院となった。疥癬の感染制御とスキンケアおよび褥瘡発生予防のためにCNICとWOCが協働し、疥癬の陰性化と感染拡大防止が図れた。

【2. 外科手術後の持続洗浄NPWTの事例】直腸切断術および人工肛門造設術後の正中創SSIにより創離開。創洗浄と軟膏処置を行っていたが、肉芽改善なく、創傷治癒遅延の状態であった。主治医より形成外科医師、WOCへコンサルテーションあり。SSI治療のためCNICと協働の運びとなり、持続洗浄NPWTを実施し、創傷が治癒した。

【おわりに】領域の枠にとらわれない横断的な活動が可能となることで、確実な感染対策や褥瘡対策の時期を逃すことなく適切に実施できている。